

飯南町への想い

「飯南町へ住んで」

飯南町下赤名 三重野 三義

大万木山、県民の森、神戸川の源流、そして赤名峠をはじめとする歴史に恵まれたこの町に住み、はや五年になりました。この間、多くの方々に助けていただき、ありがとうございました。とうとういます。

わくわくする発見がいっぱいです。この春には川岸で採った「フキノトウ」の「佃煮」に自己満足、次は汗とともに少しずつ耕してきた「マイ・ファーム」の「菜の花」の「おひたし」「一夜漬け」を夢にみています。このたびは森林セラピー

基地に認定された「県民の森」を町民の保養、健康増進に、そして癒しを求める県内外のお客様に中国山地の自然を案内し、また、銀山街道を語り、自らも癒される生活、活動をしていきたいと考えています。都会暮らしの団塊の世代は、みどり豊かなふるさと「飯南町」へ帰ってくるよう呼びかけたいものです。



大万木山にて



孫と遊ぶ



全国奨励賞に

第21回町村議会広報全国コンクールにおいて、町議会発行の議会報「飯南」（平成18年4月20日発行第5号）が奨励賞を受賞しました。

この全国コンクールは、各町村が過去1年間に発行した議会広報紙を対象にされたもので、全国から204作品の応募があり、最優秀賞1、優秀賞3、入選6、奨励賞10が選ばれ、そのなかで奨励賞に選ばれました。

この受賞を機に、議会広報編集委員会として、益々の紙面充実に誠意努力いたします。

編集後記

積雪もなく、暖冬といわれる過ごしやすい冬が、あつという間に過ぎてしまいました。

春を迎え、こぶし、椿、桜の花も例年より早く咲き、農家では種まきの準備に追われているなか、四月四日には冬に後戻りしたように雪やアラレで野山が白くなり、今年は何かあるのではと心配されています。

三月議会では、特に琴引フォレストパークについて、暖冬の影響によりスキー客の減少などで前年を下回る状況や、病院事業も一般会計から三億円が長期貸付となり、不良債務圧縮等、財政の厳しさが審議的になりました。

合併して丸二年が過ぎ、旧両町の意識も徐々に馴じんできていますが、三月議会では九名が一般質問に立ち、様々な立場からの質問が出され、町長の答弁を求めました。

財政の厳しいなかで、攻めの質問から提案型の質問へと変わりつつあります。

「わがまちは美しく」をテーマとして、町民の皆様方と共に明るいまちづくりへの知恵を出し合い、小さなまちでも「きらりと光る住みよいまち」、「全国へ誇れるまち」を目指していきたいと思えます。

議会広報編集委員会